

健康 ぷらざ

海外から持ち込まれる 感染症にかからないために

指導：防衛医科大学校内科学（感染症・呼吸器）教授 川名 明彦

企画：
日本医師会

No. 531

訪日外国人の増加と感染症

日本人の海外渡航者数と海外から来訪する外国人（インバウンド）の数の推移をグラフに示します（図）。長い間、日本人の海外渡航者数のほうが多かったのですが、5年ほど前に逆転し、現在はインバウンドのほうが多くなっています。

これまで海外から持ち込まれる感染症というと、日本人旅行者が東南アジアや南米、アフリカなどで感染する疾患を指すことが多かったのですが、最近はインバウンドによってもたらされる感染症が重要となっています。

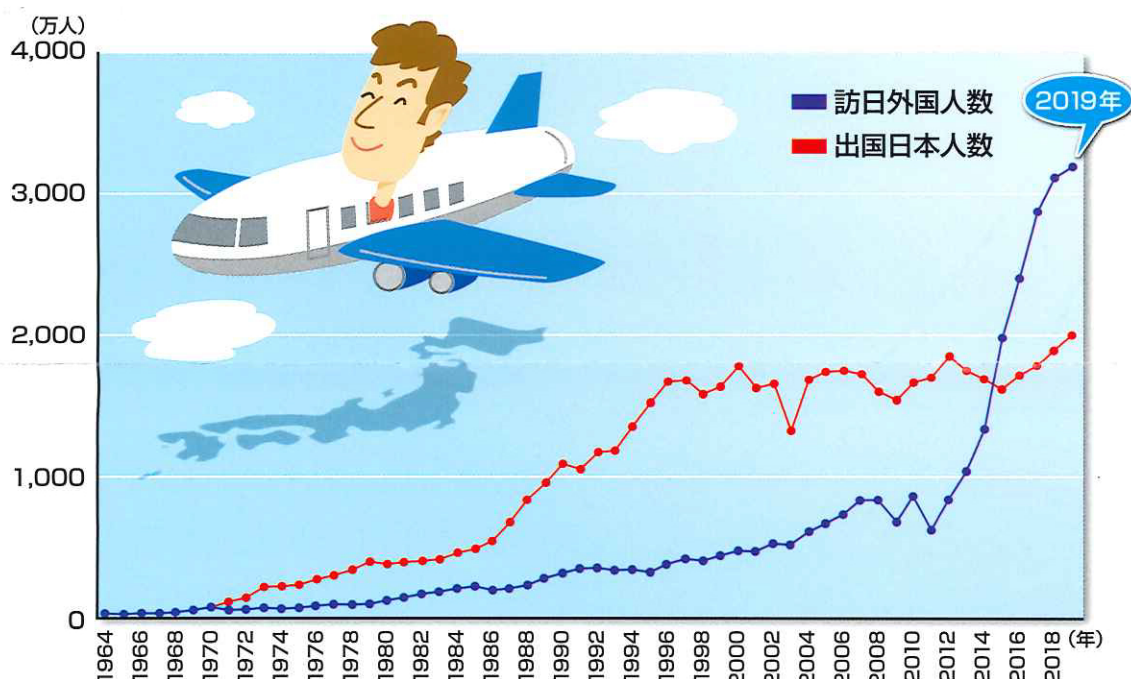


図 年別訪日外国人数と出国日本人数の推移(1964～2019年)

出典：日本政府観光局。月別・年別統計データ（訪日外国人・出国日本人）。
https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/visitor_trends/

インバウンド 感染症対策

インバウンド感染症として問題になるのは、インフルエンザ、結核、麻疹（はしか）、髄膜炎菌感染症などです。これらを予防するためには、人と人との感染対策すなわち、手洗い、咳エチケットなどが重要です。また、定期予防接種をしっかりと接種しておくことも重要です。

新型コロナウイルス感染症

今、最も注目されているインバウンド感染症は、世界的に大流行している新型コロナウイルス感染症です。この感染症については、外務省が危険情報を発出し、世界のすべての国について「不要不急の渡航は止めてください」もしくは「渡航は止めてください」のいずれかに指定しています。

すでに日本国内でも多くの感染者が出ています。対策としては、不要不急の外出を控えるとともに、手洗い、咳エチケットを行うほか、3つの密、すなわち①換気の悪い密閉空間、②多数が集まる密集場所、③間近で会話や発声をする密接場面—を避けることが重要です。

